

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 22 日(2022.9.22)

【公開番号】特開 2022-90099(P2022-90099A)

【公開日】令和 4 年 6 月 16 日(2022.6.16)

【年通号数】公開公報(特許)2022-108

【出願番号】特願 2022-71636(P2022-71636)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 13 日(2022.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を発射可能な発射手段と、

その発射手段により発射された遊技球が到達可能な特定領域と、

その特定領域に到達した遊技球が入球可能な位置に設けられている第 1 入球手段と、第 2 入球手段と、

前記第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、

前記第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 の特典とは異なる第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、

30

前記特定領域に到達した所定の遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となり、且つ、前記第 2 入球手段に入球困難となる第 1 位置と、前記特定領域に到達した所定の遊技球が前記第 1 入球手段に入球困難となり、且つ、前記第 2 入球手段に入球可能となる第 2 位置と、少なくとも可変可能な可変手段と、

その可変手段を、第 1 条件の成立に基づいて前記第 1 位置へと可変させ、前記第 1 条件とは異なる第 2 条件の成立に基づいて前記第 2 位置へと可変させる可変制御手段と、を備え、

前記可変手段は、1 の可変部材で構成されているものであり、

本遊技機は、

所定の遊技状態において前記特定領域に到達した遊技球が前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段とのいずれにも入球困難となるように制御可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の遊技機は、遊技球を発射可能な発射手段と、その発射手段により発射された遊技球が到達可能な特定領域と、その特定領域に到達した遊技球が入球可能な位置に設けら

50

れている第 1 入球手段と、第 2 入球手段と、第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基
づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、第 2 入球手段へと遊技球が入球したこ
とに基づいて第 1 の特典とは異なる第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、特定領域
に到達した所定の遊技球が第 1 入球手段に入球可能となり、且つ、第 2 入球手段に入球困
難となる第 1 位置と、特定領域に到達した所定の遊技球が第 1 入球手段に入球困難となり
、且つ、第 2 入球手段に入球可能となる第 2 位置と、に少なくとも可変可能な可変手段と
、その可変手段を、第 1 条件の成立に基づいて第 1 位置へと可変させ、第 1 条件とは異な
る第 2 条件の成立に基づいて第 2 位置へと可変させる可変制御手段と、を備え、可変手段
は、1 の可変部材で構成されているものであり、本遊技機は、所定の遊技状態において特
定領域に到達した遊技球が第 1 入球手段と第 2 入球手段とのいずれにも入球困難となるよ
うに制御可能に構成されていることを特徴とする。

10

20

30

40

50